

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	supportroomばある			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 27日 ~ 2025年 11月 17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	なし	(回答者数)	なし
○従業者評価実施期間	2025年 10月 27日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援（小集団）にてご本人に合わせた細やかなかかわりが出来る。	プログラムにお子さんを合わせるのではなく、ご本人が興味を持っている部分に対して遊びを用いて働きかけている。遊びの中でご本人の課題などがクリアできるような支援を行っている。人数に合わせた人員配置を意識している。	ご本人にとってより良い環境を、園やご家庭等の状況に応じて都度調整をしながら整えていく。訪問支援員とも連携を行い、集団生活を見据えた関わり・支援を継続する。
2	作業療法士の資格を有する職員からの助言を活用したアプローチを実施することができる	体の使い方、食事の課題などに専門的な視点からより具体的なアプローチが出来る。年間計画を作成し、手技や考え方の研修（講義、演習）を行い、支援に活かすようしている。	専門的な視点、考え方を職員全体で共有、実践を継続していく。引き続き研修を通して、知識研鑽を積む。
3	2棟の建物を使用することで、特性や発達段階を配慮した環境を整えることが出来る。	遊びの中でそれぞれの発達段階に合わせた働きかけや、ご本人の興味を広げた発達を促すための働きかけを行う。	発達に合わせた広がりのある支援を行うため、環境（人も含め）設定を振り返り支援をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信が十分ではない。	ホームページを活用できていない。 おたよりなどの情報発信がない。	情報発信のツールとしてホームページを整備していく。 継続できる範囲内での情報発信方法を検討していく。
2	多機能型事業所であるため、利用実態が、偏りやすい（放ディの利用が大半を占める）。そのため、児発の利用が限定的になってしまう。	多機能型事業所であり、放ディの移行支援が滞ってしまう現状が、児発受け入れに影響している。	運営方針に係る部分であるため、事業運営者・管理者中心に慎重に検討してい需要がある。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	supportroomばある		公表日	2026年 2月 13日				
			利用児童数	0		回収数	0	
※集計期間中に児童発達支援のご利用がなかつたため、保護者へのアンケートを行わなかつた。								
		チェック項目	(はい)	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているだと思いますか。						
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	supportroomばある
------	----------------

公表日 2026年 2月 13日

※無回答があった項目については回答に含めなかったため、100%にならない項目がある。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・子供たちの過ごしに応じて環境設定している。 ・利用児さんが自分が選択して動きある遊びと静かな場所を使い分け出来るようにしている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・子供の状態に応じて職員数を変えている。	・ガイドラインで規定されている以上の人員配置をしている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87%	13%	・職員同士で検討し、生活空間を整えている。	・新建物がバリアフリーなので必要なご利用児さんがいれば新建物での支援を検討する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	87%	13%	・必要な際は職員で検討し環境を変化させている。	・基本的な毎日の掃除は行っているが細かい点も見直し、今後も玩具、ドアノブ等出来るところをしていく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・ご利用児さん自身でも選択できる環境にしている。	
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	87%	13%	・回覧やミーティングで行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87%	13%	・回覧やミーティングで行っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87%	13%	・ミーティングで行っている。 ・代表、職員間で考えや意見等をオープンに話が出来る環境になっている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	・評価結果の振り返りを行っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・社内・社外研修とともに、情報提供を行い希望者が参加している。	
適切 な 支 援 の 提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	87%	13%		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	88%	0%		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	0%		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ミーティングや計画書の共有で行っている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87%	13%		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	63%	0%		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87%	13%	・ミーティング等で話し合い、状況に応じた活動の検討を行っている。	

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	・過ごしの安定維持を考えると、固定した方がよいご利用児さんもいらっしゃる。 ・ご利用児さんよっては部分的に固定することで心身の安定をはかっている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・子供たちの状況に合わせて環境を変えてい る。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	87%	13%		・さらに連携した支援ができるよう、職員同士のコミュニケーションに力を入れていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	87%	13%	・当日終了時点では難しい為、次の日に振り 返りを行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	13%		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	25%	・必要に応じて行っている。	・卒園に向けての関わりが主であり、以降支 援が難しい
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	88%	0%		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	88%	0%	・地域の園と併用して頂いているため、重要 性は低いと考えている。 ・地域の施設を利用させて頂き、交流の機会 を作っている。	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	87%	13%		
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	88%	0%		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	88%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	0%	・ご家族が相談しやすい関係づくりを意識している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	62%	・昨年は行った。次回も計画している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	87%	13%	・対応の体制をよりよいものにする為に現在委社内員会にて動いている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	37%	63%	・お出かけ等の活動予定は随時保護者と連絡を取っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・訓練、周知はしている。新しい職員が入ったタイミングや年度初めなどにマニュアルの確認をすることも検討する。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・今年は地震の発生後のBCP発動を想定して訓練を行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・隨時各職員が気になるところを確認していく。足りない場合はチェックリストの導入も検討する。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	62%	38%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	63%	13%	・対象とするお子さんがいらっしゃらないため記載していない。	